平成21年度政務調査費精算結果

（単位：円）

内容 / 会派名	交付金額	精算額 研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	公聴費	人件費	事務所費	その他の経費	使用済額	返納額	備考
新政会	720,000		712,080		7,920						720,000	0	
日本共産党福知山市会議員団	1,080,000	106,580	682,480	74,672		213,687					1,077,419	2,581	
福政会	900,000		778,024	84,269	17,850						880,143	19,857	
平成会（当初）	540,000											150,000	5/15変更
平成会（変更）	390,000		369,060	4,747	10,860						384,667	5,333	
公明党議員団	360,000		325,400	2,718	27,060						355,178	4,822	
自由民主党議員団	360,000		360,000								360,000	0	
創政会	720,000		505,060	88,008	21,000				105,528		719,596	404	
政和会	360,000		335,850	24,150							360,000	0	
明政会	600,000											75,000	5/15結成 10/5変更
明政会（変更）	525,000		269,940	28,652	48,255				169,375		516,222	8,778	
無会派(荒川浩司)	180,000	69,060	7,780	45,219	25,725				32,780		180,000 支出額〔180,564〕	0	超過分564円は実費弁償
無会派（池田雅志）	180,000											180,000	5/15解散
無会派（塩見　仁）	180,000											180,000	5/15解散
無会派（松本良彦）	180,000											180,000	5/15解散
合計内訳	当初 5,760,000											解散・変更 765,000	
	追加 600,000	精算 175,640	精算 4,345,674	精算 352,435	精算 158,670	精算 213,687			精算 307,683		精算 5,553,225	精算 41,775	
合計	6,360,000	175,640	4,345,674	352,435	158,670	213,687			307,683		5,553,225 支出額〔5,553,789〕	806,775	

議長 副議長 局長 次長 議事係 調査係 庶務係

政務調査費収支報告

平成22年4月9日

福知山市議会議長
松本良彦　様

会派名　新政会
経理責任者　福島俊大

平成21年度政務調査費収支報告書について

福知山市議会政務調査費の交付に関する条例施行規則第5条の規定に基づき、下記のとおり平成21年度政務調査費収支報告書を提出します。

記

1　収入
政務調査費　720,000円

2　支出

（単位：円）

科目	金額	備考
研究研修費		
調査旅費	712,080	7/8～7/10 北海道視察 洞爺
資料作成費		
資料購入費	7,920	書籍代
広報費		
広聴費		
人件費		
事務所費		
その他の経費		
合計	720,000	

3　残額　0円

（注）備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

2

受付 55 号 22.4.9 福知山市議会

閲覧	議長	副議長	局長	次長	議事係	調査係	庶務係

平成21年9月24日提出

政務調査費研究研修視察報告書

福知山市議会議長　様

会派名　新政会
幹事または代表者名　杉山　金三

1	視察研修年月日	平成21年7月8日（水）~7月10日（金）
2	視察研修先	北海道留萌市・滝川市
3	参加者氏名	井上　重典　審良　和夫　福島　慶太　杉山　金三
4	経　費	別添経費精算書のとおり
5	視察　研修項目	留萌市 （1）事務事業評価について 滝川市 （2）行財政改革プランについて
6	添付資料	行程表・写真・資料・経費精算書 （別添のとおり）

受付
第 423 号
21. 9. 24
福知山市議会

政務調査費研究研修視察報告書　（会派名　新政会）

7月9日　留萌市　視察・研修項目　事務事業評価について

（人口　25,459人　市政施行　昭和22年10月1日）

視察研修内容

事務事業評価の内容と目的

市民満足度の向上と効果的、効率的な仕事の手法の確立を目指し、事務事業ベースを基本にし、目的と手段の妥当性、事業成果、市民満足度の検証と、次年度以降の事業の改善や組立てる基本的なツールとして事務事業評価 322 事業について実施してきた。

総合計画実施の評価

しかし、19年度から、第5次総合計画が実施され総合計画に分類された85の施策単位で評価を実施することとしている。これは平成19年4月からスタートした自治基本条例により市民に公表しなければならないことにした。総合計画は10年計画であるが前期5年を目標に指標を設定し実施している。また、毎年無作為で抽出した、16歳以上の市民1,000人による満足度アンケートを実施し、成果指標のデータ収集を行っている。その結果、市民満足度の向上で、事業の見直しによる進行管理を行って、総合計画を推進していくことにしている。

評価結果は、次年度以降の事業見直しや重点配分、新たな政策、具体的取り組みにつなげ、予算に反映していくことにしているが、経常経費的な予算は各部に枠配分している。しかし、政策評価による新規事業は、現実は、財政事情が厳しいため殆ど出来ない状態である。特に市民病院経営負担が大きく、19年度末で27億数千万円の赤字を出している。（21年度予算規模一般、企業、特別合計で約268億8千5百万円）赤字比率が36.5%で待ったなしの状態である。公立病院の特例債を18億円総務省で認めていただき、これは1年限りの借金であるが20年度は9.1%になる予想である。

本市が参考とすべき事項

本市では、第4次行政改革大綱を策定し、この実施状況については、その実績、効果について検証、公開されています。しかし、第4次総合計画については、留萌市のように、政策項目ごとの検証、評価がされていない。市としても総合計画の実施状況を具体的に評価、検証し総合計画がどこまでその計画とおり推進されたか市民の前に明らかにすべきである。この点は留萌市の事例にならいたい。

政務調査費研究研修視察報告書　　（会派名　新政会）

7月10日　　滝川市　　研修項目．行財政改革プランについて

（人口　44,066人　　面積11.82平方キロメートル）

1、研修内容

新滝川市活力再生プランについて担当課から説明を受ける

計画策定の経過

市は早くから行財政改革に取り組んでおり、様々な改革を実施してきた。第一次行革（平成10年度~平成14年度）コスト削減が中心　第二次行革（平成15年度から）市役所自身の変革　財政健全化計画（平成16年度～平成20年度）市活力再生プラン策定（平成17年3月）平成17年度から平成22年度までの6カ年計画を作成。平成19年に市長が、マニフェストで、改革再生を掲げ当選し、平成19年10月に「滝川市行財政を考える市民会議」を発足。市民会議や市議会特別委員会でプランの見直し、課題をまとめ新滝川市活力再生プラン（平成21年度から平成23年度まで）を策定。

再生プランの概要

行財政改革のみのプランでは市自体が疲弊するとの観点から、「まちを再生する視点」を重視した。

プランの目標を再生戦略と改革戦略におき、再生戦略では、①経済施策の強化②子育て施策の充実③学校教育の充実④病院・医療の充実の4つの目標を設定。改革戦略では、①総人件費改革②行政財産の見直し③内部コストの徹底した削減④第三セクター等改革の4つの目標を設定。

これらの目標では、徹底した改革を実現するために、再生戦略で滝川市産業活性化協議会と滝川地産地消ふるさと協議会を設立し、地域の農業生産物を活かした産業振興を図る。また。改革戦略では、計画額で総額約6億67万円を改善し、特に人件費は市長65%、副市長41%、議員報酬15%（9月まで）3,3%（10月まで）期末手当0,05%、職員給料3%管理職手当て53%などの削減。土地開発公社の廃止、振興公社の資産売却、公共施設の売却、譲渡、民間委託、廃止などを実施する。新たな課題として、可燃ごみ処理委託業者が経営難から撤退を申し入れている。

まちを再生する視点を重視

再生戦略の①経済施策の強化では、滝川市産業活性化協議会を設立し、街なか居住賑わい創出、農商工消費者連携、花観光・食観光体験観光の4事業を行い、滝川地産地消ふるさと協議会で地域の特色を生かした産業の振興を図る。（菜種食品関連事業、あいがも、ＳＰＦ豚、なたね、ジンギスカン等が有名。全国的なもので障害のある子どものためのキッズキャンプに食品等を供給。）

②子育て施策の充実は今年3月にこども未来づくり条例を制定。地域、家庭における子育ち応援を実施。

③学校教育の充実では、幼稚園教育、義務教育、高等学校教育の充実を図る。（高等学校教育では、國學院大學との連携の推進を図る。）

④病院・医療の充実

2、本市が参考とすべき点

本市では、平成18年12月に第4次福知山市行政改革大綱を策定今日まで実施、その成果を市民に公表されている。しかし、合併協議を通じて作成された「新福知山市まちづくり計画」については、検証が必ずしも充分とは言えない。この点、滝川市の新滝川市活力再生プランは、改革戦略と再生戦略とをセットのものとして実行、検証していこうとしている。本市でもこの点は、参考にして新市のまちづくり、産業振興に活かすべきである。

旅費支出負担行為書A票附票兼請求書（その1）

作成：市議会事務局
審査：会計室

出張年月日	平成21年7月8日より 平成21年7月10日まで	□公用車 □精算払 □随行 ☑概算払	起案日 平成21年7月7日

用務
平成21年度 新政会・平成会・自由民主党議員団
合同行政視察、
・事務事業評価について
・行財政改革プランについて

用務先
北海道 留萌市、滝川市

旅客料金計	車賃 区間	車賃 運賃	日当	宿泊料	(旅費計) 請求金額	補職名 氏名	級(相当)	調整承認	請求印	領収印
13,250円	下記	88,160円	9,000円	29,600円	(　) 140,010円	議員 杉山金三	級(相当)			
円		円	円	円	(　) 円	議員 井上重典	級(相当)			
					(　)	議員 審良和夫	級(相当)			
車賃	関西AP～旭川AP	(　)km 45,700円	旭川～神戸AP	(　)km 570円	新千歳AP～神戸AP (　)km 41,300円	計 円	議員 福島慶太	級(相当)		
車賃	神戸AP～三宮	(　)km 8.2km 320円	三宮～宝塚	(　)km 24.4km 270円	(　)km ~~88,160~~円	計 88,160円		級(相当)		
旅客会社運賃	福知山～関西AP	(　)km 170.9km 3,150円	旭川～留萌	(　)km 80.3km 1,600円	留萌～滝川 (　)km 72.2km 1,410円	計 円	宿泊地	固定 2	固定外	
旅客会社運賃	滝川～新千歳AP	(　)km 130.1km 2,240円	宝塚～福知山	(　)km 88.7km 1,450円	(　)km 円	計 9,850円				
特急料金	福知山～大阪	(　)km 114.2km 1,360円	滝川～札幌	(　)km 83.5km 1,100円	宝塚～福知山 (　)km 88.7km 940円	計 3,400円				
グリーン料金		(　)km 円		(　)km 円	(　)km 円	計 円				

○＝宿泊地

乗車地→下車地　福知山
関西AP ← 天王寺 ← 大阪
46 (　)km 10.4 (　)km 14.5 (　)km
旭川AP → 旭川 → 留萌
(　)km (　)km 80.3 (　)km
神戸AP ← 新千歳AP ← 滝川
(　)km 170.9 (　)km 72.2 (　)km
三宮 → 宝塚 → 福知山
8.2 24.4 88.7

備考（旅費の調整、その他必要事項）

旭川APから旭川までは、連絡バスがあり、便利で安いためバスを利用した。　号旅費

注意事項　◎換算キロと営業キロがある場合、（　）に換算キロ記入のこと。
◎請求金額の（　）内は、調整前の金額を記入のこと。

航空料金差額　正規料金（45,700円＋41,300円）×4人－割引料金（38,400円＋34,800円）×4人＝55,200円 戻入
140,010円×4人－55,200円＝504,840円

8

閲覧	議長	副議長	局長	次長	議事係	調査係	庶務係

平成21年12月25日提出

政務調査費研究研修視察報告書

福知山市議会議長　様

会派名　新政会
幹事または代表者名　杉山　金三

1	視察研修年月日	平成21年11月9日（月）～10日(火)
2	視察研修先	東京都千代田区
3	参加者氏名	井上　重典、審良　和夫、福島　慶太、杉山　金三
4	経費	別添経費精算書のとおり
5	視察　研修項目	東京都千代田区 いきいきプラザー番町（都市型総合福祉施設）
6	添付資料	行程表・写真・資料・経費精算書 （別添のとおり）

受付 第678号 21.12.25 福知山市議会

7

政務調査費研究研修視察報告書　　（会派名　　新政会）

１１月９日　　東京都千代田区
　視察・研修項目　　都市型総合福祉施設について

（人口　　４６、８４９人　　特別区施行　昭和22年３月15日）

視察研修内容

施設の名称
　いきいきプラザ一番町

施設の目的
　ノーマライゼーション理念の実現をめざし展開している様々な福祉施設の一環として平成７年５月に「いきいきプラザ一番地」を開設した。

施設の概要
　所在地　千代田区一番町１２
　規　模　土地　２，７８０．７７m²
　　建物　１１，７６２．３５m²
　構　造　鉄骨鉄筋コンクリート造地上８階・地下２階

施設の内容
　３つの機能を兼ね備えた施設となっており、「高齢者サービス機能」「健康・保健機能」「文化コミュニティ機能」を有している。
　地下１階　多目的ホール、機械式駐車場　１階　受付・区民ギャラリー　地域包括支援センター、レストラン　２階　交流スペース（交流と資料・情報）
　３階　指定通所介護事業所　４～６階　特別養護老人ホーム　短期入所生活・介護予防短期入所生活介護　７階　高齢者専用住宅　単身用１３戸世帯用２戸　８階　温水プール　定員５０名　健康コーナー（健康相談・健康増進）

施設の機能・成果
　１、高齢者サービス、健康・保健、文化コミュニティの施設が同一建物の中にあることによって、これらの施設の利用者のお互いのふれあいを容易にし、お互いの施設の機能がより複合的に発揮できる。
　２、地下の多目的ホール、会議室等を利用された人達がボランティヤ活動に参加するなど高齢者との交流を通じ、高齢者への理解を深めることが出来る。
　３、多目的ホールで演奏会を開催した中学校生が、入居されている高齢者とともに会食会を開催するなど交流を深め高齢者に対する親しみと理解を深めている。
　４、子供たちに触れ合う機会の少ない高齢者にとっては、お年寄りが陥りがちな孤独感からの解放に役立っている。

施設の管理、運営
　施設の管理、運営については、指定管理者制度を採用、社会福祉法人東京栄和会が平成１８年から１０年間の契約で行っている。この福祉法人の業務管理については、労務、管理、財務状況を３年～５年に一度専門家の監査を実施している。また、毎年利用者に対するサービス評価を行っている。

本市が参考とすべき点
　１、施設の設置について
　一般的に従来の高齢者施設は、単独の施設で、どちらかといえば一般住宅からやや離れた独立的な施設として設置されてきている。
　高齢者の生きがい、孤独感を防ぐために他の施設と併用することによって若い年齢層との交流、ふれあいの機会が容易にでき、双方の相乗効果が期待できる。今後の施設の在り方についてはこれらの点を充分勘案し設置、運営をしていくことが重要であると考える。
　２、指定管理者の管理について
　指定管理については、その業務、その他に関し常にチェックを入れ、指定後についても充分監視を行い、業務の管理体制を確立すべきである。

旅費支出負担行為書A票附票兼請求書（その1）

作成：市議会事務局
審査：会計室

H.-6

出張年月日	平成21年11月9日より 平成21年11月10日まで	□公用車 □精算払 □随行 ☑概算払	起案日 平成21年11月6日
用務 平成21年度新政会、平成会、自由民主党議員団合同行政視察、 「いきいきプラザ1番町」の管理運営について。			用務先 東京都千代田区

旅客料金計	車賃 区間	車賃 運賃	日当	宿泊料	（旅費計）請求金額	補職名 氏名	級（相当）	調整承認	請求印	領収印
97,520 ~~[illegible]~~円	〃	円	6,000円	14,800円	（ ）58,320 ~~[illegible]~~円	議員 杉山金三	級（相当）			
円	〃	円	円	円	（ ）円	議員 審良和夫	級（相当）			
円	〃	円	円	円	（ ）円	議員 井上重典	級（相当）			
円	〃	円	円	円	（ ）円	議員 [illegible]	級（相当）			
円	〃	円	円	円	（ ）円		級（相当）			

旅客会社運賃	福知山〃東京	(602.1)km 8,410円	東京〃福知山	(602.1)km 8,410円	〃	（ ）km 円	計 16,820円	宿泊地	固定	/	固定外
~~急行~~ グリーン料金	京都〃東京	(402.2)km 10,304円	〃	（ ）km 円	〃	（ ）km 円	計 10,300円				
特急料金	福知山〃京都	(88.5)km 470円	京都〃東京	(513.6)km 4,730円	東京〃京都	(513.6)km 4,730円	計 円				
特急 ~~[illegible]~~ 料金	京都〃福知山	(88.5)km 470円	〃	（ ）km 円	〃	（ ）km 円	計 10,400円				

○＝宿泊地

乗車地→下車地　福知山

京都 ← 東京 ← 京都 ←
513.6（ ）km　513.6（ ）km　88.5（ ）km

福知山 → 88.5 →
（ ）km　（ ）km　（ ）km

← ← ←
（ ）km　（ ）km　（ ）km

備考（旅費の調整、その他必要事項）
旅費計算誤算のため、追加払いをし、旅費金額を訂正。
（グリーン料金不足分 京都↔東京、10,300円×4人＝41,200円
ただし、政務調査費残額15,160円のみ支払い）H21.12.17

号旅費

注意事項　◎換算キロと営業キロがある場合、（ ）に換算キロ記入のこと。
◎請求金額の（ ）内は、調整前の金額を記入のこと。

@ 58,320円×4人＝233,280円の内
調査旅費は 207,240円

郵便振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	[redacted] 通常払込料金加入者負担
	[redacted]
加入者名	株式会社　中央文化社
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 ¥7920
ご依頼人	おなまえ No.C 495 新政会 代表 審良 様　様
料金	受付局日附印 21-07-17 綾部郵便局 (44007)05 N91470009
特殊取扱	

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

「地方議会人」購読料
H21.4月～H22.3月分

閲覧	議長	副議長	局長	次長	議事係	調査係	庶務係
	松	中村	斉	土本	山本	内田	青柳

政務調査費収支報告

平成２２年 4月 5日

福知山市議会議長
松本良彦 様

会 派 名 日本共産党福知山市会議員団
経理責任者 塩見卯太郎

平成２１年度政務調査費収支報告書について

福知山市議会政務調査費の交付に関する条例施行規則第５条の規定に基づき、下記のとおり平成２１年度政務調査費収支報告書を提出します。

記

1 収 入
政務調査費 1,080,000 円

2 支 出

（単位：円）

科目	金額	備考
研究研修費	106,580	4/22 地方議会議員のための地方自治体財政健全化セミナー（南宮泰一、塩見卯太郎） 7/2～7/3 平成21年度第2回新潟県議会議長研修（他8議員、南宮泰一、吉見純男）
調査旅費	682,480	7/10～11/11 千葉県、野田市、長野県、木曽町 7/2～7/10 高知県、須崎市（塩見卯太郎、吉見純男、中西英俊、南宮泰一）
資料作成費	74,672	コピー代、プリンターインク、綴じ紐 他
資料購入費		
広報費	213,687	議会報告用紙代 他
広聴費		
人件費		
事務所費		
その他の経費		
合計	1,077,419	

3 残 額 2,581 円

（注） 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

受付 第53号 22.4.5 福知山市議会

13

NO.40

領収証

高宮泰一 様

¥10,000.－

内訳

品名	数量	単価（税込）	
地方議会議員のための地方自治体財政健全化セミナー	1	¥10,000	

上記金額正に領収いたしました。
平成21年4月22日

第一法規株式会社
代表取締役社長 田中 英弥
〒107-8560 東京都港区南青山二丁目11番17号
電話 03（3404）2251［代表］

NO.41

領収証

塩見卯太郎 様

¥10,000.－

内訳

品名	数量	単価（税込）	
地方議会議員のための地方自治体財政健全化セミナー	1	¥10,000	

上記金額正に領収いたしました。
平成21年4月22日

第一法規株式会社
代表取締役社長 田中 英弥
〒107-8560 東京都港区南青山二丁目11番17号
電話 03（3404）2251［代表］

14

H22 1/7 ~1/8

490

領 収 書

日本共産党福知山市会議員団 様

金額　7,200　円

但し、

平成21年度第2回市町村議会議員セミナー の

研修費(3名様分)

として上記の金額を領収いたしました。

平成21年12月25日

財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役　木村孝一郎

領収書No. 359

15

議　長	副議長	局　長	次　長	議事係	調査係	庶務係

平成２２年３月５日

政務調査費研究研修視察報告書

福知山市議会議長　様

会　派　名　日本共産党福知山司会議員団
代表者名　　塩　見　卯　太　郎

1　視察・研修年月日　　平成２２年１月７日（木）～１月８日（金）

2　視察・研修先　　滋賀県大津市唐津２丁目１３番１号
（財）全国市町村研修財団主催　第２回市町村議会議員セミナー

3　参加者氏名　　中島英俊・高宮泰一・吉見純男　以上３名

4　経　　費　　合計７９，３８０円

5　視察・研修項目　(1)講演「分権改革の新展開と自治体の議会に求められるもの」
大森わたる氏(東京大学名誉教授)

(2)講演「地域の特性を活かしたまちづくり」
西村幸夫（東京大学先端科学技術研究センター教授）

(3)フォーラムディスカッション
「新春に集う～魅力あるまちづくり」
コーディネーター　西村幸夫氏
パネリスト　　金丸弘美氏（食環境ジャーナリスト）
横石知二氏（(株)いろどり代表取締役）
吉田　修氏（伊賀の里モクモク手作りファーム
専務理事）

6　添付資料　　行程表・資料・経費精算書（別添のとおり）

受付
第 816 号
22. 3. -5
福知山市議会

16

政務調査費研究研修視察報告書

日本共産党福知山市会議員団

平成２２年１月７日(木)～１月８日(金)
視察・研修項目　滋賀県大津市唐崎２丁目１３番１号
（財）全国市町村研修財団主催　第２回市町村議会議員セミナー聴講

１、視察研修内容
(1)講演「分権改革の新展開と自治体の議会に求められるもの」聴講
大森わたる氏（東京大学名誉教授）

(2)講演「地域の特性を活かしたまちづくり」聴講
西村幸夫氏（東京大学先端科学技術研究センター教授）

(3)フォーラムディスカッション「新春に集う～魅力あるまちづくり」聴講
コーディネーター　西村幸夫氏
パネリスト　金丸弘美氏（食環境ジャーナリスト）
横石知二氏（㈱いろどり代表取締役）
吉田　修氏（伊賀の里モクモク手作りファーム専務理事）

２、セミナーの評価
講師陣も全国的レベルの方々であり、これからの自治体・議会・議員・市民に求められる実践課題について先端事例も示しての講演は示唆を与える内容であった。また、北海道から九州地方の議員２３４名が参加しており交流もはかれた。参加費も安価であることから通年参加している議会、議員もあった。
３、講演内容・導入の方策と課題
不確定な財政論で合併をして、旧態依然のコスト論優先の行政運営をしている自治体は衰滅の危機に直面して行く。農山村漁村が衰退し滅んで行けば、都市は必ず滅んでいく。それを回避する国策は都市と農産漁村の共生と対流を実現していく制度と政策でなければならない。民主党政権の地域主権の確立に関する法体系の改正も予定される中、地方自治体に求められる制度改革は議会は執行部と同等の施策立案形成能力を担保できる組織形態と議員能力の向上が求められている。行政組織の編成の仕方では行政運営に住民が主体的に参画する分権型行政組織（地域自治組織の設置）が必要である。
地域の特性を活かしたまちづくりでは、徹底して地域文化・自然・歴史的財産の価値を住民と行政が共有できる情報交流のなかで地域哲学を醸成し経済活動に繋げて行くことが冠である。福知山市でも開発呼び込み型街づくり政策からの脱却が求められている。

４、資料　セミナー入寮時配布資料、領収書写等

旅費支出負担行為書Ａ票附票兼請求書（その１）

作成：市議会事務局
審査：会計室

出張年月日	平成22年 1月 7日より 平成22年 1月 8日まで	□公用車 □精算払 □随行 ☑概算払	起案日 平成21年 12月 21日
用務 平成21年度 JIAM議員研修等 第2回 市町村議会議員セミナー 日本共産党福知山市会議員団 参加			用務先 滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所

旅客料金計	車賃 区間	車賃 運賃	日当	宿泊料	(旅費計) 請求金額	補職名 氏名	級(相当)	調整承認	請求印	領収印
5,660円		円	6,000円	14,800円	(　) 26,460円	議員 吉見純男	議長等 級(相当)			
円		円	円	円	(　) 円	議員 中島英俊	議長等 級(相当)			
円		円	円	円	(　) 円	議員 高宮泰一	議長等 級(相当)			
円		円	円	円	(　) 円		級(相当)			
円		円	円	円	(　) 円		級(相当)			

旅客会社運賃	福知山～唐崎	(102.5)km 1,890円	唐崎～福知山	(102.5)km 1,890円		(　)km 円	計 3,780円	宿泊地	固定 / 固定外
急行料金		(　)km 円		(　)km 円		(　)km 円	計 円	○＝宿泊地	
特急料金	福知山～京都	(88.5)km 940円	京都～福知山	(88.5)km 940円		(　)km 円	計 1,880円		
グリーン料金		(　)km 円		(　)km 円		(　)km 円	計 円		

乗車地→下車地　福知山
京都 ← 唐崎 ← 京都 ←
(14.0)km (14.0)km (88.5)km
→ 福知山 → → →
(88.5)km (　)km (　)km
← ← ←
(　)km (　)km (　)km

備考（旅費の調整、その他必要事項）

号旅費

注意事項　◎換算キロと営業キロがある場合、(　)に換算キロ記入のこと。
◎請求金額の(　)内は、調整前の金額を記入のこと。

26,460円×3人＝79,380円

議長	副議長	局長	次長	議事係	調査係	庶務係

平成２１年１２月２日提出

政務調査費研究研修視察報告書

福知山市議会
議長　松本良彦様

会派名　日本共産党福知山市会議員団
代表　塩見卯太郎

１、視察・研修年月日	平成２１年１１月１０日（火）～１１日（水）
２、視察・研修先	千葉県野田市、長野県木曽町
３、参加者氏名	塩見卯太郎、仲林清貴、吉見純男、中島英俊、高宮泰一、足立進
４、経費	合計３２４，７８０円（１人当たり　５４，１３０円） 別添経費精算表のとおり
５、視察・研修項目	千葉県野田市 公契約条例制定について 長野県木曽町 公共交通システムについて 地域協議会について
６、添付資料	行程表、写真、資料、経費精算書　別添のとおり

受付
第580号
2.1.12.-2
福知山市議会

視察報告（日本共産党福知山市会議員団）

◎日時：２００９年１１月１０日（火）　◎視察先：千葉県野田市
（人口１５万６千人、面積１０３，５平方キロ）、大豆生産から醤油の街

◎ 内容：公契約条例制定について

・公契約条例とは何か・・・「公契約」とは、国や自治体などの公的機関を相手に結ばれる契約であり、労働者の労働条件を確保するもの。

・条例制定の目的・・・平成１７年に千葉市長会より国の方へ要望したが、国の整備がないので、本市が条例をつくり、全国の先導になればとの考えで、８０５自治体へ条例を送付した。

・条例制定までの経緯・・・低入札、応札で下請け業者にしわ寄せ。品格法では、水準は保たれていても、賃金はそのままである。平成１７年に県市長会より、国に要望を上げるが、国の整備がないので、野田市が全国の先導役になる。平成２１年９月議会で提案され議決された。

・条例のポイント・・・前文で異例ではあるが、条例制定の定義と、国で制定するよう国に対しての要望などが明記している。公契約では賃金の設定は農水省と国交省の労働単価の８割を参考にした。すでに東京都日野市が８割であった。施工後のチェックでは立ち入り検査を行うこととしている。そこで不正があれば是正命令を行う。落札を決めるのに総合評価で行う。その中に、時間給８２９円を下回ると失格になる。

・今後、市の考え方なり体制は
・・・条例の実行は平成２２年度より行い、当面はこの条例の対象の１億円以上の事業で３～４件を、業務委託では１０００万円以上の清掃業務などを試行する。電子入札の導入は平成２４年度より、県内合同のシステムに入ることを検討している。臨時職員の時間給を、現行８１５円を８３０円にすることを検討している。また、契約の体制は来年度より１名の増員で３名体制になる。

◎課題

まだ、条例が成立して施行は来年度からであり、実際の入札後に検証したうえで、条例の目的が達成できてくる。来年度の取り組みが重要である。

◎視察後の見解

すでに、多くの自治体から労働者の生活を補償出来る、労働時間給のアップを望む要望書が多くから上がっている中で、野田市が率先され条例制定されたことに敬意を表する。地元経済の安定と活性化のため、本市でも条例制定に向け、早急に調査研究をする事項である。また、ＩＬＯの勧告を受ける日本にとって、労働者が大切にされる世界の流れに沿っていくことを望む。

視察報告（日本共産党福知山市会議員団）

◎日時：２００９年１１月１１日（水）　◎視察先：長野県木曽町　２００５年４町合併
（人口１万３千人、面積４７６平方キロ）

●視察項目：１，公共交通システムについて　２，地域協議会について

◎ 内容：公共交通システムについて

利用者の動きは、朝は中心部へ、夜は周辺部へとなっている。利用者の利便性を図るために、ゾーンバスシステムを導入した。これは４町内を走るバスの時刻と、４町を結ぶ幹線バスの乗り継ぎを細かく接続した。バスのダイヤはコンサルに委託している。最初は職員２名がつきっきりで行った。また、運賃は乗り継ぎをしても１区間と同じ２００円の料金にした。平成２０年度利用者数は２１万４千人となっている。

◎課題

収支状況で１億３～４千万円の赤字となっている。この８割が国交省補助制度の地域公共交通総合計画策定の認可により、３年間補てんされるために、町の負担は２～３千万円となっている。特別交付税が６割になれば町の負担は増えるから、利用増の対策を講ずることが課題。

◎視察後の見解

本市ではバス運賃の見直しはされたが、利便性を確保する点では、まだ不十分なところがある。今後は住民の利便性を重視したシステムにするために、利用者から今の運行に対する意見や要望を聞くこと。また、専門家の意見も取り入れて交通システムを、早急に構築していくことが望まれる。

◎ 内容：地域協議会について

協議会は合併協議会で検討してきた、まちづくり条例に基づいたもので、任意組織である。運営は委員によりやっており、団体の長や公募の委員で構成している。支所長が事務局長を兼務している。総会（住民集会）が年に１回あり事業報告、決算など行い、実質的な協議は地域協議会が行っている。予算は１０００万円で（７００万円を４支所に均等割、３００万円は人口割）使途は費用弁償（交通費）・・・払っていない協議会もある。交際費（代表者は非常勤特別職として、各種会議、式典に出席するため）飲み食いも自由。行政の地域づくり事業（９３００万円）では、農道・水路の修繕などは支所長が、協議会で意見を聞き場所の決定が出来る。

◎ 課題

合併で各支所の人員を大幅に削減したが、地域の要望にこたえて支所を、１課から２課へ拡充した。地域協議会には、全ての団体が参加しており、横のつながりで進めている。団体の縦割りでの動きとの関係が課題となっている。

◎ 視察後の見解

合併後、本市ではそれぞれの地域の特色を重視した発言はあったが、支所への権限や自由に使える予算がないのが現実となっている。地域の活性化を促すには、一定の財政措置のもと、それぞれの地域住民が議論し決定、実行していく自治組織がある方が良い。

旅費支出負担行為書A票附票兼請求書（その１）

作成：市議会事務局
審査：会計室

出張年月日	平成21年11月10日より 平成21年11月11日まで	□公用車 □精算払 □随行 ☑概算払	起案日 平成21年11月9日
用務	平成21年度日本共産党福知山市会議員団行政視察 ・公契約条例について ・公共交通システムについて ・地域協議会について		用務先 千葉県野田市 長野県木曽町

旅客料金計	車賃 区間	車賃 運賃	日当	宿泊料	（旅費計）請求金額	補職名 氏名	級（相当）	調整承認	請求印	領収印
38,480円 ~~33,930~~円		円	6,000円	14,800円	（ ）59,280円 ~~54,730~~円	議員 植見郁夫	議長 級（相当）			
円		円	円	円	（ ）円	議員 中谷清貴	副議長 級（相当）			
					（ ）	議員 足立進	議長 級（相当）			
		（ ）km 円	（ ）km 円		（ ）km 円	計 円	議員 吉見純男	議長 級（相当）		
旅客会社運賃	福知山～野田市	（ ）640.4km 10,140円	野田市～甲府	（ ）168.7km 3,900円	甲府～木曽福島	（ ）129.7km 2,210円	計 円	議員 中島英機	議長 級（相当）	
旅客会社運賃	木曽福島～福知山	（ ）369.2km 6,090円		（ ）km 円		（ ）km 円	計 21,440円	宿泊地 固定 / 固定外		
特急料金	福知山～京都	（ ）88.5km 470円	京都～品川	（ ）506.8km 4,730円	新宿～甲府	（ ）123.8km 1,300円	計 円			
特急料金	甲府～塩尻	（ ）88.0km 1,150円	木曽福島～名古屋	（ ）133.1km 890円	名古屋～京都	（ ）147.6km 2,410円	計 円			
特急 ~~ゾーン~~ 料金	京都～福知山	（ ）88.5km 940円		（ ）km 円		（ ）km 円	計 11,890円			

○＝宿泊地

乗車地→下車地　福知山
木曽福島 ← 甲府 ← 野田市
129.7km（ ）km 168.7km（ ）km 640.4km（ ）km
福知山 → 369.2km（ ）km →（ ）km →（ ）km
（ ）km ←（ ）km ←（ ）km ←（ ）km

グリーン料金 京都～品川 506.8km 5,150円　5,150円

備考（旅費の調整、その他必要事項）
旅費計算誤算のため、追加申しいたし、旅費金額を訂正
（グリーン料金不足分 京都～品川 5,150円×6人＝30,900円）H21.12.17

号旅費

注意事項 ◎換算キロと営業キロがある場合、（ ）に換算キロ記入のこと。
◎請求金額の（ ）内は、調整前の金額を記入のこと。

@ 59,280円×6人＝355,680円

旅費支出負担行為書A票附票兼請求書（その1）

作成：市議会事務局
審査：会計室

出張年月日	平成21年11月10日より 平成21年11月11日まで	□公用車 □精算払 □随行 ☑概算払	起案日 平成21年11月9日

用務：平成21年度日本共産党福知山市会議員団行政視察
・公契約条例について
・公共交通システムについて
・地域協議会について

用務先：千葉県野田市
長野県木曽町

旅客料金計	車賃 区間	車賃 運賃	日当	宿泊料	（旅費計）請求金額	補職名 氏名	級（相当）	調整承認	請求印	領収印
38,480 ~~37,800~~円		円	6,000円	14,800円	（ ） 59,280 ~~57,600~~円	議長 高宮泰一	職務 級（相当）			
円		円	円	円	（ ）円		級（相当）			
					（ ）		級（相当）			
		（ ）km 円	（ ）km 円	（ ）km 円	（ ）km 円	計 円	級（相当）			
旅客会社運賃	福知山 野田市	（ ） 640.4km 10,140円	野田市 甲府	（ ） 168.7km 3,000円	甲府 木曽福島	（ ） 129.7km 2,210円	計 円	級（相当）		
旅客会社運賃	木曽福島 福知山	（ ） 369.2km 6,090円		（ ）km 円		（ ）km 円	計 21,440円	宿泊地 固定 / 固定外 ○＝宿泊地		
特急料金	福知山 京都	（ ） 88.5km 470円	京都 品川	（ ） 506.8km 4,730円	新宿 甲府	（ ） 123.8km 1,300円	計 円			
特急料金	甲府 塩尻	（ ） 88.0km 1,150円	木曽福島 名古屋	（ ） 133.1km 890円	名古屋 京都	（ ） 147.6km 2,410円	計 円			
特急 ~~ライン~~ 料金	京都 福知山	（ ） 88.5km 940円		（ ）km 円		（ ）km 円	計 11,890円			

乗車地→下車地：福知山 → 野田市 → 甲府 → 木曽福島 → 福知山
（ ）km（ ）km（ ）km（ ）km
（ ）km（ ）km（ ）km

グリーン料金 京都～品川 506.8km 5,150円 5,150円

備考（旅費の調整、その他必要事項）

号旅費

注意事項 ◎換算キロと営業キロがある場合、（ ）に換算キロ記入のこと。
◎請求金額の（ ）内は、調整前の金額を記入のこと。

議長	副議長	局長	次長	議事係	調査係	庶務係

平成22年2月26日

政務調査費研究研修視察報告書

福知山市議会議長　様

日本共産党市会議員団
塩見　卯太郎

1・視察・研修年月日　平成22年2月8日（月）～2月10日（水）

2．視察・研修先　高知県梼原町・高知県須崎市

3．参加者氏名　塩見卯太郎・吉見純男・中島英俊・高宮泰一（4名）

4．経　費　合計　326，800円（81，700／1人）

5．視察・研修項目
梼原町
（1）梼原町バイオマスタウン構想
（2）環境モデル都市アクションプラン
（3）ペレット工場視察
須崎市
（1）自治基本条例制定に向けた取り組み

6．添付資料　別紙のとおり

受付 第850号 22.2.26 福知山市議会

政務調査費研究研修視察報告書

日本共産党福知山市会議員団

２月１０日(水)　須崎市　視察・研修項目　・自治基本条例について

（市政施行：昭和２９年１０月１日　　・人口：２５、４１４人）

１、視察研修内容

自治基本条例制定にむけての取り組み経過について、担当職員より説明を受けて質疑応答を行なった。

須崎市では自治基本条例庁内検討会を平成１８年７月１９日以来同１２月までに６回の会議を開催して条令素案を取り纏めた。その後、自治基本条例は市民が主体となって作ることが重要であり、そのためには、制定の過程で広く市民が参画できる方法をとらなければならないと考え、市の機関という位置付けのもと「自治基本条例作成市民会議」を設置委員は公募と公民館単位の推薦者の４８名で構成し平成２０年１月に第３回目の会議を開催したが９名の参加しかなく盛り上がりに欠け、市民会議の活動を休止した。その後、市民アンケートを実施しアンケート結果を基に同年９月に市民会議の活動を再開し専門部会を作り分担して作成を行ない、２２年１月に庁内検討会素案を基に条例案を取り纏めた。３月～８月に議会調整をして９月定例会に上程をして１０月施行の予定である。

２、施策の検討と評価

市民主体を全面に出すも、公民館推薦委員が主体で庁内検討案追認となっており実態として行政主導の感は否めない。このため委員をふくめ市民の関心・盛り上がりに欠ける。したがって、自治基本条例の意義が市民に十分理解されていない情況のなかで、制定後の効果や変化が不透明である。周知・P.R方法、制定後の運用方法が課題である。

３、施策施行・導入方策と課題

条例制定にあたっては、専門的知見の導入もはかりながら、制定過程の情報公開と平行して自治基本条例とは何ぞやということを十分市民のなかに浸透させていくこと抜きには実効ある条例制定は出来ないものと考える。不十分な点は順次条例改正をしていく姿勢が必要である。須崎市では条例制定過程で議会における施策形成はまったく反映されていない。議会基本条例と分けた方が責任と運用が明確になる。

４、資料等

須崎市自治基本条例（案）

政務調査費視察研修報告（日本共産党市会議員団　４人）

◇ 日　時　２０１０年　２月９日（火）

◇ 視察先　高知県梼原町　町政施行：昭和４１年（人口：4,０１１人・面積：２３６.５１ｋ㎡）

◇ 項　目　梼原町「環境モデル都市行動計画」について。

１．内容：　梼原町は面積の９１％を森林が占めるため、早くから林道や作業道の開設に取り組み森林保全や資源の有効活用に力を注ぎ、基幹産業である林業を支えてきた。

人口は４０００人。人口減少や高齢化が進むなか、平成１１年四国カルスト高原の立地を活かし２基の風力発電を設置する。年間３８０万ｋｗを発電し約４０００万円を四国電力に売電している。４００万円の経費を除いた収益を環境基金にし、太陽光発電パネル設置と森林間伐等への助成に使っている。このような従来からの施策を個別に進めるのではなく、平成２１年に「梼原町環境モデル都市行動計画」を策定し、CO2削減目標２０３０年50%、２０５０年70%を掲げ、梼原型低炭素社会を実現するため自立性が高く、環境にやさしく、地域振興にも役立つ「梼原モデル」のまちづくりを目指している。

① 木質バイオマス地域環境モデル事業プロジェクト

② CO2森林吸収プロジェクト

③ CO2削減プロジェクト

④ 人・仕組みづくりプロジェクト

以上４つを柱に、2009年度から５年間において実施しようとしている事業の具体化と実施を行っている主な施策は、◇環境先進企業と地域が協働して、森林の再生と交流の促進を柱に森林の再生を進める。◇間伐材や端材などから木質ペレットの製造・販売。◇森づくり資金を調達する排出量取引制度の活用。◇住民のペレットストーブ導入への助成。◇家庭用エコ給湯器導入への助成。◇家庭用太陽光発電施設導入への助成（1ｋｗ当り 20 万円助成４kw 上限）◇小水力発電施設の導入・活用等。その他、学校での環境教育や地域教育の推進、健康住宅の構造検討、旅育・食育などの体験学習型ツアーの実施など、具体的実施計画になっている。また、実施体制として、産官学と住民からなる「梼原町環境モデル都市推進協議会」を設立し、町を挙げ全部署が一体となった推進体制を築き取り組みを進めている。

２．課題：　CO2削減が地球的規模で求められている今、吸収量が排出量を上回る山村とはいえ、林業の復活を中心に、住民に啓蒙や助成金を通じCO2排出量を2050年に70%削減を目標に意欲的に取り組む町政に驚愕の敬意を感じ得なかった。これまでの個別のCO2削減施策（助成金等）は、風力発電２基から得られる収益を環境基金に活用して行っている。しかし、これほど大規模な「環境モデル都市行動計画」を実現するためには多額な財源が必要になるため、現在の風力発電２基を2050年までに40基の建設を目標にしているが、巨額な建設費に対して、今後国や県の助成をどれだけ得られるのかが今後のカギになるだろう。

３．視察後の見解：　施策の「できる」「できない」は、都市の大小ではなく、トップの的確な課題の選択と行政（職員）の熱意と住民の思いが一致することにより真の協働を創り、大きな力を発揮することを学んだ。そして、今日的課題である環境問題の克服は、21世紀の「まちづくり」でもあることを実証した視察研修であった。

旅費支出負担行為書A票附票兼請求書（その1）

作成： 市議会事務局 青柳

審査： 会計室

出張年月日	平成22年2月8日より 平成22年2月10日まで	□公用車 □精算払 □随行 ☑概算払	起案日 平成22年2月1日
用務 平成21年度 日本共産党福知山市会議員団行政視察 ・梼原町バイオマスタウン構想での環境モデル都市アクションプランについて ・自治基本条例について			用務先 高知県 梼原町 須崎市

旅客運賃料金計	車賃 区間	車賃 運賃	日当	宿泊料	（旅費計）請求金額	補職名 氏名	級（相当）	調整承認	請求印	領収印
39,620円	須崎（往復）梼原	3480円	9000円	29600円	（ ）81,700円	議員 塩見卯太郎	級（相当）			
円	〃	円	円	円	（ ）円	議員 吉見純男	級（相当）			
円	〃	円	円	円	（ ）円	議員 中島英俊	級（相当）			
円	〃	円	円	円	（ ）円	議員 高宮泰一	級（相当）			
円	〃	円	円	円	（ ）円		級（相当）			

旅客会社運賃							計	宿泊地	固定	2	固定外
	福知山（往復）須崎	（ ）108.4 km / 16440円	〃	（ ）km / 円	〃	（ ）km / 円	16440円	○＝宿泊地			
~~急行~~特急料金	福知山（往復）新大阪	（ ）336.0 km / 2720円	新大阪（往復）岡山	（ ）360.6 km / 4820円	岡山〃須崎	（ ）221.4 km / 1150円	計 / 円				
特急料金	佐川〃岡山	（ ）206.9 km / 1150円	〃	（ ）km / 円	〃	（ ）km / 円	計 / 9840円				
グリーン料金	新大阪（往復）岡山	（ ）360.6 km / 5340円	岡山〃須崎	（ ）221.4 km / 4000円	佐川〃岡山	（ ）206.4 km / 4000円	計 / 13340円				

乗車地→下車地　福知山

児島 ← 岡山 ← 新大阪
27.8（ ）km 180.3（ ）km 118.0（ ）km

須崎 → 梼原 → 須崎
193.6（ ）km（ ）km（ ）km

児島 ← 佐川 ← 大間
179.1（ ）km 12.8（ ）km 1.7（ ）km

岡山 → 新大阪 → 福知山
27.8　180.3　118.0

備考（旅費の調整、その他必要事項）

号旅費

注意事項 ◎換算キロと営業キロがある場合、（ ）に換算キロ記入のこと。
◎請求金額の（ ）内は、調整前の金額を記入のこと。

81,700円×4人＝326,800円

資料作成者

領収証

No.

日本共産党福知山市会議員団様　　平成21年9月8日

719,208－

但し　インクカートリッジ、綴紐、理想用紙2500

上記の金額正に領収いたしました

収入印紙

株式会社 [redacted]堂
代表取締役 [redacted]治郎
福知山市字内記72番地の1
電話 0773－22－2883(代)

係

54204

(公) 納入通知書兼領収書

口座番号	01090-7-960071	加入者名	福知山市会計管理者

平成21年度	番号	6700089769-00-00

納付者
〒620-8501
福知山市字内記１３－１

福知山市議会
日本共産党福知山市会議員団　代表　塩見卯太郎　様

コピー代4月分7636円、5月分2932円
6月分8250円、7月分4468円、8月分2956円
9月分3763円、~~10月分6284円、11月分3531円、~~
~~12月分4101円、1月分3550円~~

納付金額	30,005円
納入期限	

所属	01010000　市議会　議会事務局
会計	01 一般会計
款	20 諸収入
項	06 雑入
目	04 雑入
節	01 雑入
細節	50 コピー代
説明	02 議会事務局

上記のとおり納付してください。

福知山市長
松山　正治

上記のとおり領収しました。

京都府福知山市　市町村コード 262013

領収日付印

No.7 出納済 22.2.17 京都・福知山

(納付者保管)

65000128940000

A4216700089769 0000A

納めるところ

福知山市役所会計室及び各支所出納窓口
京都銀行　本店・支店
京都北都信用金庫　本店・支店
京都丹の国農業協同組合　本店・支店
京都農業協同組合　福知山支店
関西アーバン銀行　福知山支店
近畿労働金庫　福知山支店
但馬銀行　福知山支店
福知山市内の中兵庫信用金庫
近畿2府4県の郵便局（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県）

22.3.30 京都・福知山

(納付者保管)

65000145690000

A4216700101714 0000A

204

(公) 納入通知書兼領収書

口座番号	01090-7-960071	加入者名	福知山市会計管理者

平成21年度	番号	6700101714-00-00

納付者
〒620-8501
福知山市字内記１３－１

福知山市議会
日本共産党福知山市会議員団　代表　塩見卯太郎　様

コピー代10月分6284円、11月分3531円
12月分4101円、1月分3550円、2月分3540円
3月分3193円

納付金額	24,199円
納入期限	平成22年 3月31日

所属	01010000　市議会　議会事務局
会計	01 一般会計
款	20 諸収入
項	06 雑入
目	04 雑入
節	01 雑入
細節	50 コピー代
説明	02 議会事務局

上記のとおり納付してください。

平成22年 3月26日
福知山市長
松山　正治

上記のとおり領収しました。

京都府福知山市　市町村コード 262013

領収日付印

No.5 出納済 22.3.30 京都・福知山

(納付者保管)

65000145690000

A4216700101714 0000A

納めるところ

福知山市役所会計室及び各支所出納窓口
京都銀行　本店・支店
京都北都信用金庫　本店・支店
京都丹の国農業協同組合　本店・支店
京都農業協同組合　福知山支店
関西アーバン銀行　福知山支店
近畿労働金庫　福知山支店
但馬銀行　福知山支店
福知山市内の中兵庫信用金庫
近畿2府4県の郵便局（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県）

領　収　証

No.

日本共産党福知山市会議員団 様

平成 22 年 3 月 15 日

¥1,260－

但し

上記の金額正に領収いたしました

収入印紙

株式会社 報[redacted]堂

代表取締役 [redacted] 治郎

福知山市字内記72番地の1

電話 0773－22－2883(代)

[redacted]

係

3

プリンター インク

1260

〈政務調査費〉

領　収　証

No.

日本共産党福知山市会議員団 様

平成 21 年 12 月 9 日

¥41,643－

但し　インクカートリッジ、用紙

上記の金額正に領収いたしました

収入印紙 200円

株式会社 報[redacted]堂

代表取締役 [redacted] 治郎

福知山市字内記72番地の1

電話 0773－22－2883(代)

[redacted]

係

32

インクカートリッジ、用紙

領　収　証

No.

日本共産党福知山市会議員団 様

平成 22 年 1 月 7 日

751,975－

但し　用紙代

上記の金額正に領収いたしました

収入印紙 200円

株式会社 報[redacted]堂

代表取締役 [redacted]治郎

福知山市字内記 72 番地の 1

電話 0773－22－2883(代)

係

広報費

33

領　収　証

No.

日本共産党福知山市会議員団 様

平成 22 年 7 月 15 日

¥120,060－

但し　議会報告用紙代

上記の金額正に領収いたしました

収入印紙 200円

株式会社 報[redacted]堂

代表取締役 [redacted]治郎

福知山市字内記 72 番地の 1

電話 0773－22－2883(代)

係

広報費

34